

令和5年7月調査 賃金実態調査報告書(要約版)

宇城久区域商工会議所・商工会広域連携協議会
宇城久地域ビジネスサポートセンター
(宇治商工会議所・城陽商工会議所・久御山町商工会)

宇城久区域商工会議所・商工会広域連携協議会では、企業の賃金等の実態を把握し、労働環境の整備や雇用の確保など今後の企業経営の参考に供することを目的として、毎年7月に宇治・城陽・久御山区域内に事業所を有する企業1000社を対象に「賃金実態調査」を行っています。

今回は本年7月に、令和4年12月期の基本給や諸手当、令和4年1月～令和4年12月の年間賃金についての調査を行い、259社から回答(回答率25.9%)を得ました。以下は賃金実態調査結果の要約です。

①業種別平均賃金

区分	集計事務所数	集計人数	平均年齢	平均勤続年数	令和4年12月の所定内賃金		年間賃金
					基本給	諸手当	
全業種平均	239社	1,218人	46歳	14年	277,871円	42,926円	4,572千円
					214,149	25,764	3,310
製造業	112	758	46	14	287,420	41,933	4,696
					218,495	27,053	3,439
卸売業	12	29	45	17	283,726	68,450	5,610
					221,407	11,644	2,636
小売業	20	50	44	11	261,241	33,713	4,221
					222,263	26,117	3,423
飲食業	27	37	47	10	218,841	55,720	3,577
					166,924	39,182	2,914
運輸・通信業	9	69	57	13	257,019	63,294	3,901
					164,262	10,177	2,063
建設・不動産業	27	105	46	13	315,024	29,678	4,886
					219,827	11,989	3,453
サービス業	15	42	42	14	240,098	79,705	4,882
					199,000	35,900	3,251
その他の業種	17	55	51	13	221,550	32,385	3,343
					222,835	11,172	2,848

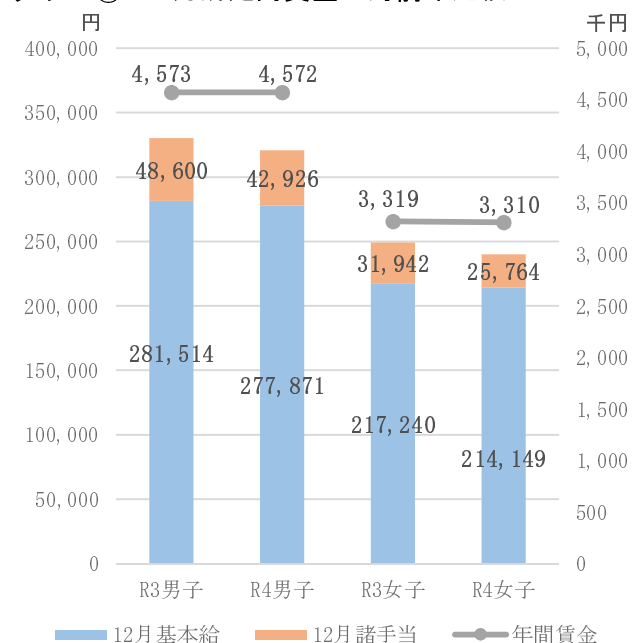
令和4年12月に支払われた基本給は、全業種平均で男子277,871円(46才、勤続14年)、女子214,149円(44才、同11年)。諸手当については、業種平均で男子42,926円、女子25,764円であった。

また、令和4年1月～12月の間に支払われた年間賃金(所定外賃金・賞与含む)は、全業種平均で男子4,572千円、女子3,310千円となっている。

基本給を業種別にみると、男子では建設・不動産業315,024円(46才、同13年)が最も高く、次いで、製造業287,420円(46才、同14年)、卸売業283,726円(45才、同17年)の順で、女子はその他の222,835円(47才、同11年)が最も高く、次いで、小売業の222,263円(47才、同9年)、卸売業の221,407円(48才、同18年)となっている。

前年と比較すると、基本給と諸手当が男女とも減少しており、残業手当や賞与を含めた年間賃金は、男子はほぼ横ばいで推移し、女子は4年連続で増加していたが、今年度は減少に転じた。

グラフ① 12月所定内賃金の対前年比較



②規模別平均賃金

区 分		事業 所数	全従業員 平均賃金		従業員 1～19人		従業員 20～49人		従業員 50～99人		従業員 100人以上	
		社	人	円	人	円	人	円	人	円	人	円
全業種 平均	男子	239	1,218	314,885	530	318,685	331	313,451	163	299,585	193	321,016
	女子		445	235,442	152	197,903	127	247,061	81	242,688	85	277,997
製造業	男子	112	758	324,005	327	322,927	219	307,162	89	315,551	123	362,839
	女子		254	241,674	73	200,680	74	240,393	51	262,453	56	277,861
卸売業	男子	12	29	340,032	10	335,924	1	xx	18	342,092	0	xx
	女子		10	209,746	4	188,643	4	211,723	2	248,000	0	xx
小売業	男子	20	50	284,504	5	155,200	25	340,687	12	218,833	8	288,250
	女子		39	247,041	3	68,333	18	250,477	6	221,500	12	299,333
飲食業	男子	27	37	262,513	8	294,000	10	219,530	5	273,554	14	271,279
	女子		22	198,642	6	92,000	5	238,600	7	210,056	4	262,025
運輸・ 通信業	男子	9	69	320,313	13	353,962	15	394,220	20	326,332	20	248,007
	女子		6	174,440	2	90,000	0	xx	3	245,567	1	xx
建設・ 不動産業	男子	27	105	332,701	71	339,399	34	319,501	0	xx	0	xx
	女子		31	223,951	22	203,995	9	272,733	0	xx	0	xx
サー ビス業	男子	15	42	306,495	26	298,877	16	318,875	0	xx	0	xx
	女子		25	226,940	17	209,441	8	264,125	0	xx	0	xx
その 他の 業種	男子	17	55	252,758	26	269,069	0	xx	19	214,225	10	283,560
	女子		34	232,364	12	225,402	0	xx	12	186,713	10	295,500

(注) データが1名以下の区分については“××”を表示している。

令和4年12月に支払われた所定内賃金(基本給に諸手当を加えたもの)の規模別平均賃金を業種別でみると“従業員1～19人”区分の賃金が“全従業員平均賃金”を上回ったのは、男子では飲食業、運輸・通信業、建設・不動産業、その他の4業種、女子ではなかった。“従業員20～49人”区分では、“全従業員平均賃金”を上回ったのは、男子では小売業、運輸・通信業、サービス業の3業種、女子では卸売業、小売業、飲食業、建設・不動産業、サービス業の5業種となった。

一方、“全業種平均”の賃金を“従業員1～19人”区分の賃金が上回った業種は、男子では製造業、卸売業、運輸・通信業、建設・不動産業の4業種、女子では製造業、建設・不動産業、サービス業、その他の4業種となった。

③業種別パート社員等平均時給額

区 分	平均時給額		対前年時給額 伸 び 率	最高時給額		
	事業所数	パート数			R4	R3
全業種平均	127 社	635 人	1,050 円	1,030 円	1.94 %	— 円
製造業	60	301	1,072	1,040	3.08	3,050
卸売業	4	26	1,055	981	7.54	1,394
小売業	10	48	1,007	982	2.55	1,420
飲食業	17	96	978	981	▲0.31	1,310
運輸・通信業	5	33	1,011	1,051	▲3.81	1,200
建設・不動産業	8	17	1,242	1,368	▲9.21	1,600
サービス業	6	28	1,031	1,021	0.98	1,350
その他の業種	9	45	1,077	1,019	5.69	1,600

令和4年12月に支払われたパート社員等の平均時給額は、昨年から1.94%増加し全業種平均で1,050円となっている。

業種別に見ると、平均時給額は建設・不動産業の1,242円が最も高く、次いで、その他が1,077円、製造業が1,072円、卸売業が1,055円、サービス業が1,031円、運輸・通信業が1,011円、小売業が1,007円となった。最も低いのは飲食業で978円となっており、最低賃金968円より10円高い水準となっている。